

## タケノコ皮を利用したコンプリートフィーディング

農業研究センター 畜産研究所 大家畜部

### 研究のねらい

牛の飼養に用いられる粗飼料としては牧草、稲ワラ等があげられるが、農産物の加工過程で廃棄される残査の中にも粗飼料として利用可能なものが多い。

そこで、牛乳の低コスト生産の一助とすべく、未利用資源であるタケノコ皮の飼料としての有効性と効率的な給与方法について調査した。

### 研究の成果

1. 缶詰工場でボイルされたタケノコ皮をサイレージに調製し、その成分を分析したところ、現物で粗蛋白質 2.2 %、粗脂肪 0.3 %、澱粉等 7.6 %、粗繊維 5.5 %、乾物 17.4 %、DCP 1.3 %、TDN 10.7 %であった。
2. 乳牛用飼料としてそのまま利用するには水分が高いため、できればサイロ詰め込み時に水分の調整を行うか、コンプリートフィードに利用するのがよい。
3. 試験ではタケノコ皮サイレージを飼料全体の 4 % (DM比) の割合で用いたが、分離給与よりコンプリートフィードにして給与した方が採食量を多くすることができる。
4. 2ヶ月間(試験期間)の給与では、乳量、乳脂率、無脂固形分率に悪影響はみられなかった。
5. 以上、タケノコ皮サイレージ自体は、嗜好性が若干劣るが、コンプリートフィードにすることでこの点をカバーできたことから、農産物の加工残査の中で嗜好性の低いものは、コンプリートフィードにすることで飼料としての利用性が高まると思われる。

表 1 試験における飼料の混合割合

飼料	乾物 %	現物 %	飼料	乾物 %	現物 %
トウモロコシサイレージ	23	38.2	ヘイキューブ	8	5.3
タケノコ皮サイレージ	4	13.5	ビートパルプ	8	5.0
イタリアン乾草	11	7.2	配合飼料	41	27.6
稲ワラ	5	3.2			

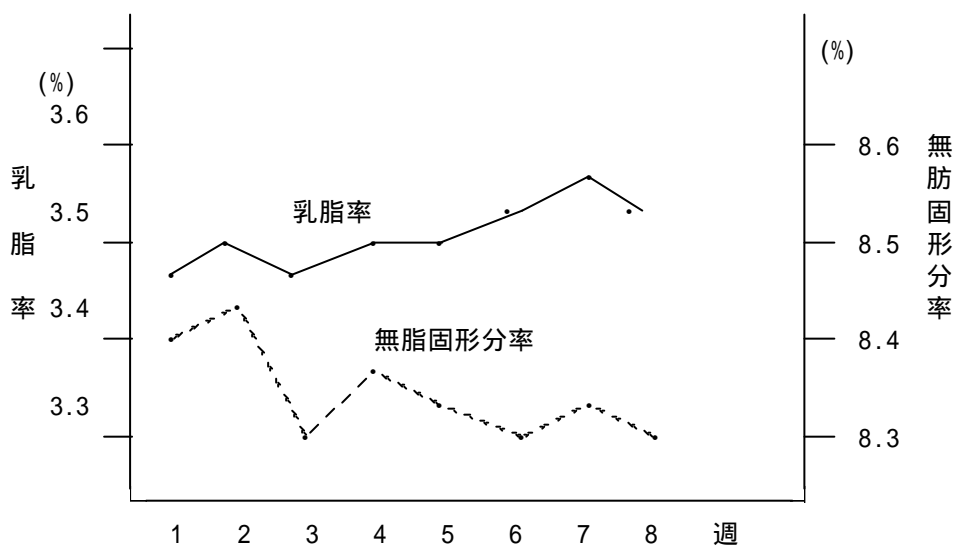


図 2 タケノコ皮サイレージを給与した場合の乳脂率と無脂固形分率の推移